

た)を用いた解決は困難なように思われます。(貴社弁護士らも出席の)総会でも述べた通り、(坂井眞無法弁護士らと群れを成す)(総会報告を粉飾し被害者を平然と攻撃し居直る)不法な(違法だからこそ頼る)代理人を排除し、誠意を持って話し合う事を希望します。これ以上、(交渉する資格のない)代理人弁護士らからの嫌がらせの(法を守ると見せかけた悪意の攻撃)通知を受けた場合、貴社役員等の自宅訪問(及びポスティング)などの更なる対抗措置を考えさせて頂きます。また、姑息な方法ではなく正式な協議示談の申しれで、本人(代理人以外)からの通知であれば誠意を持って受託致し、双方が納得する方法で解決させて頂きます。

また、通信費用を最小限にする為、連絡はメールにてお願い致します。(送付された返信用封筒には公正を期すための内容証明書留費用が含まれておりませんので新たな負担を強いるものであり、尚、発信者、日時等があればメールも証拠として採用されますことを申し添えます)。片山怜奈氏は弁護士に不法かつ故意(悪意)に当方の個人情報(漏えい)甚大な被害(迷惑)を受けました。情報を提供依頼した弁護士、法的説明をした弁護士等の不理解と不法と騙しと弁護、そして攻撃は見るに耐えず、これが続けばストレスによる病を誘発を意図したものと解釈せざるを得ません。真実を捻じ曲げ公正を欠き(犯罪者であるにも関わらず)依頼者の利益の為なら不法行為を顧みない、職務越権的集団暴行(いじめ)にも等しい、被害者の苦痛を顧みない悪辣な弁護士らとの距離を置きたい(接触を避けたい)と考えるのは当然の結果です。

南出弁護士は情報(アラーム)を伝えたにも関わらず初動の過ちを正さず無視し問題を大きくしました。また、高橋弁護士も初動において顧問弁護士の職を放棄し、結果、共謀して準備書面陳述において多くの証拠のない重大な虚偽を述べました。高橋弁護士の初動が正しければ、他に弁護士を依頼する必要はなく、依頼主との見解の相違(無謀な見解)を補うために(無理に)他に(違法な救済を求め、責任を問う形で)依頼したと推測できます。弱者虐め且つ、平然と違法行為を行い且つ、平然と虚偽を主張する悪辣な弁護士軍団(坂井眞氏を含む)と言う他はありません。

遵法理念をして「お客様の安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供」を標ぼうする保険を生業とする者が、自らの違法行為を隠ぺいする為に被害者攻撃に汲々とする様は到底看破することは出来ません。当方に法的、社会的な非はありません。正式な謝罪と実態に伴う補償が無い限りあらゆる手段(真実の追及と公表の中で社会的責任を問う正義)を講じて行きますので、悪しからずご了解下さい。しつこい違法な書面の送付は今後もお控え頂きます様、重ねてお願い申し上げます。

一般社団法人損保漏えい救済基金 理事長：T.s.. / 理事：H.s..

sompo.roei@gmail.com (問合せ先、今後は左記メールで受付けさせて頂きます)